

# 講義計画書

## (シラバス)

2021年度

第29期生

【2年次】

宮本看護専門学校

学籍番号	氏名
------	----



## 基礎分野／家族社会学

目的：社会における家族の構造と機能を理解し、現代家族の問題について学ぶ

授業内容	人間と生活・ 社会の理解	単元	家族社会学	講師	小笠原 尚宏	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b> 1. 基礎的な社会単位としての「家族」について学習することを通して、人間社会の成り立ちについて理解を深める 2. 現代家族の諸機能と諸課題について学習し、在宅ケア、家族支援等に活かせるよう看護専門職として必要となる「家族」をめぐる基本事項を身につける							
<b>必携テキスト</b> 看護学テキスト NICE「家族看護学 19 の臨床場面と 8 つの実践例から考える」 南江堂				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法・配点</b> 客観テスト 100 点				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1・2	5/18	1. 「社会」とは何か	講義
		2. 社会的動物としての人間 個人と社会	講義
3・4	5/25	1. 社会集団としての家族	講義
		2. 家族の歴史	講義
5・6	6/8	3. 日本の家族 イエとムラ①	講義
		4. 日本の家族 イエとムラ②	講義・演習
7・8	6/22	5. 核家族と近代家族	講義
		6. 家族の形態と機能	講義・演習
9・10	9/7	7. 家族内の地位と役割	講義
		10. 子ども観の変化と親子関係	講義
11・12	9/14	11. 揺らぐ家族① 家族問題と家族危機	講義・演習
		12. 揺らぐ家族② 現代日本の家族病理	講義・演習
13・14	9/21	13. 現代家族の多様性	講義
		14. 現代家族と医療・保健・福祉①	講義
15	9/28	15. 現代家族と医療・保健・福祉②	講義・演習
		テスト	

## 基礎分野／社会心理学

目的：社会の中における自己・他者・人間関係を理解し、心身の健康のあり方を学び、  
また、自分を取り巻く世界にどう適応するかその力を養う

授業内容	人間と生活・ 社会の理解	単元	社会心理学	講師	常木 暎生	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 看護場面の人間関係を理解するのに必要な社会心理学的な理論・知見を学習する 2. レジユメの作成、発表の仕方を習得する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
カラー版徹底図解 社会心理学 新星出版社							
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
発表状況（レジユメ、発表）各 20 点 テスト 60 点							

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1・2	9/15	1. 授業の進め方、第1章 社会心理学とは？	講義
3・4	9/22	第2章 社会心理学の歴史的な実験	演習・講義
5・6	9/29	第3章 社会の中の個人	演習・講義
7・8	9/30	第4章 対人認知と行動	演習・講義
9・10	10/27	第5章 集団の中の人間	演習・講義
11・12	10./28	第6章 文化と人間の心理	演習・講義
13・14	11/10	第7章 社会現象・社会問題の心理	演習・講義
15	11/11	終講テスト	講義

## 基礎分野／英語 II

目的：医学や福祉・看護に関する英語表現を学び、看護の場で生かせる能力を養う

授業内容	人間と生活・ 社会の理解	単元	英語 II	講師	城倉 純子	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 健康や医療、福祉に関連する英文を読み、内容を理解する 2. 主に英米の医療事情や、医療に関連した英米文化についての理解を深める 3. 医療・福祉に偉大な貢献をした外国の人々の業績文献に触れ、医療従事者としてのモチベーションを高め、普遍的な人間愛を学ぶ 4. 医療英語の理解を通し、外国人患者とのコミュニケーション能力を高める							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
MatherTeresa-love is Action 三友社 「現場ですぐ役立つ実践メディカル英会話」 MC メディカ出版				CD (「実践メディカル英会話」) DVD (「ローマの休日」 or 「赤毛のアン」 など)			
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
客観テスト 100 点							

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	4/15	・英語学習についてのオリエンテーションII (英文法の再復習、筆記体、英米文化についてほか)	講義
2	4/22	・「MatherTeresa-love is Action 」読解、	講義と演習 DVD 視聴
3	5/6	「実践メディカル英会話」読解と演習	
4	5/20	↓	
5	5/27	↓	
6	6/3	↓	
7	6/17	英文法の要点解説、英米文化に関する英文資料の翻訳	
8	7/15	などをテキスト学習の間に随時はさんでいく	
9	9/2	↓ ・「ローマの休日」 or 「赤毛のアン」 のシナリオ翻訳と DVD 部分視聴	講義と DVD 視聴
10	9/16	・「MatherTeresa-love is Action 」読解、「実践メディカル英会	講義と演習
11	9/30	話」読解と演習	
12	11/4	↓	
13	11/11	↓	
14	11/18	↓	
15	11/25	↓ テスト範囲について	
		・テスト	

## 基礎分野／保健体育 II

目的：健康な生活を創造するための体育の意味や運動生理学を学び、また体育の向上・心身のリフレッシュを図り協調性を養う。

授業内容	人間と生活・ 社会の理解	単元	保健体育 II	講師	長谷川恵子	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。</li> <li>2. 運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。</li> <li>3. 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を身に付ける。</li> </ol>							
<b>評価方法・配点</b>				<b>準備教材</b>			
①と②の合計点を100点換算				救急箱・CD(ラジオ体操)・CDデッキ			
①試合結果・技術テスト・授業態度を踏まえた評価表				バレーボール・ネット他 器具・空気入れ・拡声器			
②運動適正テストの得点							
<b>備考</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校指定のトレーニングウェア着用 ※6～9月のみハーフパンツ可</li> <li>②運動するのにふさわしい身だしなみ（装飾品は外す・髪の毛の長い人はまとめる）</li> <li>③個人の準備物：A4クリップボード・筆記用具・タオル・飲み物</li> <li>④体育館への移動・ネットの準備・片付けは、速やかに行う。</li> <li>⑤貴重品（携帯含む）は持って行かない。</li> </ol>							

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	4/15 (木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学的根拠を踏まえた効果的なストレッチ（ダイナミック）</li> <li>2. 卓球ゲーム or ソフトバレーゲーム（グループ入れ替え制）</li> </ol>	実技
2	4/20 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卓球ゲーム or ソフトバレーゲーム（グループ入れ替え制）</li> </ol>	実技
3	5/14 (金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体幹年齢チェック&amp;トレーニング ※ヨガマット持参</li> <li>2. 運動時における熱中症対策と応急処置</li> <li>3. ドッジボール</li> </ol>	実技
4	5/21 (金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動適正テスト</li> <li>2. 生涯スポーツとは</li> </ol>	適正テスト
		①立幅とび ◆3hカウント ②腕立伏臥腕屈伸 ③時間往復走 ※④上体起こしは自宅で測定	
5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バスケ技術練習（ハンドリング・ドリブル）</li> <li>2. シュート成功率（ドリブル&amp;フリースロー）</li> </ol>	実技 技術テスト
6		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バスケ技術練習（ハンドリング・ドリブル）</li> <li>2. シュート成功率（ドリブル&amp;フリースロー）</li> </ol>	実技 技術テスト
7		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チャレンジ・ザ・スティック</li> <li>2. ゲーム（輪投げ・縄跳び）</li> <li>3. 終講のまとめ・振り返り</li> </ol>	実技
<p>■毎授業後に学習の成果（試合結果・技術テスト結果等）を自己評価表に記入し、提出する。</p>			

## 基礎分野／文化講座 II

目的：感性を磨き、創造性を培う

授業内容	人間と生活・ 社会の理解	単 元	文化講座 II	講 師	山崎美紀 2 砂長久枝 4	長谷川恵子 5 野原恵美 4	単位数	1
							時間数	15
<b>学習目標</b> 1. 楽しく、主体的に行動できる 2. 創意工夫を見いだせる 3. 協調性を育て、社会人としてのマナーを身につける								
<b>準備教材</b> CD、歌詞カード、PC など					<b>評価方法・配点</b> 出席・態度 30% 客観評価 30% 自己評価 40%			

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	7月	手話講習 手話講師による指導（動画の撮影）	
2	9月	手話をグループごとに練習 毎回、学生間学びの共有、リフレクションを行い 修得していく。（視聴覚教材の活用）	
3			
4		クラス全体で、「看護師になる」という自覚や戴帽式を作り上げていく過程を通し学ぶ。	
5			
6			
7			

## 専門基礎分野／病理学Ⅳ

目的：生体に現れる変化を理解し、病気のメカニズムと治療論について学ぶ

授業内容	疾病の成り立ちと回復の促進	単元	病理学Ⅳ	講師	岡本 ー 8 田口典子 2	岡田浩介 18+1	単位数	1
							時間数	30
<b>学習目標</b> 1. 主な女性生殖器系の疾患の病態生理・原因・症状と経過・検査と治療を理解する 2. 麻酔・ペインコントロールの治療を理解する 3. 主な内分泌・免疫疾患の病態生理・原因・症状と経過・検査と治療を理解する 4. 主なアレルギー・感染症疾患の病態生理・原因・症状と経過・検査と治療を理解する								
<b>必携テキスト</b> 医学書院 …「系統 4、6、9、11」 「系統 9」 「系統臨外各論」					<b>準備教材</b> PC・パワーポイント			
<b>評価方法・配点</b> 客観テスト					<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1 2 3 4	7/14 9/8	1～4 女性生殖器系疾患・検査・治療	岡本	講義
5	6/7	5. 全身麻酔・局所麻酔・術前評価術後管理 ・ペインコントロール	田口	講義
6・7 8・9 1011 1213 1415	5/13 6/10 7/8 9/9 10/28	6. 内分泌・免疫疾患の理解のための基礎知識 7. 内分泌・免疫疾患の診断と治療法 8. 保存的治療の適応となる主な内分泌・免疫疾患 9. 外科的治療の適応となる主な内分泌・免疫疾患① 10. 外科的治療の適応となる主な内分泌・免疫疾患② 11. アレルギー・感染症の理解のための基礎知識 12. アレルギー・感染症の診断と治療法 13. 保存的治療の適応となるアレルギー・感染症 14. 外科的治療の適応となるアレルギー・感染症  終講テスト	岡田	講義



## 専門基礎分野／病理学 V

目的：生体に現れる変化を理解し、病気のメカニズムと治療論について学ぶ

授業内容	疾病の成り立ち と回復の促進	単 元	病理学V	講師	古庄 健太郎 8	石川貴裕 4	単位数	1
					伴野 悠士 8	他	時間数	30
<b>学習目標</b> 1. 主な感覚器疾患の病態生理・原因・症状と経過・検査と治療を理解する 2. 主な脳・神経疾患の病態生理・原因・症状と経過・検査と治療を理解する								
<b>必携テキスト</b> 医学書院 … 「系統7」「系統臨外各論」 「系統14」「系統13」「系統12」					<b>準備教材</b> PC・パワーポイント			
<b>評価方法・配点</b> 客観テスト					<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1 2	5/20	1. } 2. } 皮膚の疾患・検査・治療	石川	講義
3 4	6/	3. } 4. } 視覚系の疾患・検査・治療	外部	講義
5 6	6/1 6/8	5. } 6. } 聴覚系の疾患・検査・治療	大塚	講義
7 8 9 10	5/13 5/27 6/3 6/10	7. 神経内科で扱う疾患 脳の役割・機能 8. 脳梗塞とその症状・てんかん 9. 頭痛・脳炎・髄膜炎・ヤコブ病・神経変性疾患 アルツハイマー 認知症 ALS他 10. 神経変性疾患・神経炎症疾患 パーキンソン病 多発性硬化症他	古庄	講義
11 12 13 14	5/12 5/19 5/26 6/2	11. 脳・脊髄の構造と機能、障害 12. 頭部外傷 他 検査CT MRI 13. 脳血管障害、機能的疾患の外科的治療 14. 脳腫瘍・脊髄腫瘍・小児の中枢神経疾患	伴野	講義
15		15. 終講テスト		

## 専門基礎分野／栄養学

目的：人間にとっての栄養の意義と臨床栄養について学ぶ

授業内容	疾病の成り立ち と回復の促進	単元	栄養学	講師	平山 麻里子	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 各栄養素の体内における役割と臨床的意義を理解する 2. 現在の日本における食生活の問題点を理解する 3. 疾患を治療するためのコントロール食と、各疾患への対応を理解する 4. 経口摂取できない患者のための栄養管理について理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
わかりやすい栄養学 ニューヴェル・ヒロカワ オールガイド食品成分表 実教出版 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂				演習用食材			
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
出席・態度 客観テスト							

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	4/27	1. 栄養とは	講義
2		1) 食生活チェック (改善目標を決める)	
3	5/11	2) 食事バランスガイドを使った1日の必要量	
4		3) 健康日本21について	
5	5/25	2. 食物と栄養	
6		3. ライフステージと健康教育	
7		4. 疾病と栄養	調理実習
78	6/15	5. 症状別栄養素の取り方	
9	7/6	6. 食事指導の実際	
1011		1) 糖尿病食 調理実習	
12	7/13	2) 腎障害の食事 調理実習	
1314			講義
15	7/14	8. 経管栄養とカロリー輸液の管理と指導	
		終講テスト	
		* □は 実習	

## 専門基礎分野／リハビリテーション

目的：リハビリテーション医学の基礎的知識と患者への援助を学ぶ

授業内容	疾病の成り立ちと回復の促進	単元	リハビリテーション	講師	宮本泰典 4	棟方直子 2	単位数	1
					柏崎孝輔 2	塚本浩平 2		
<b>学習目標</b> 1. リハビリテーションの概念・定義、リハビリテーション医療について理解する 2. リハビリテーション医療に携わる様々な医療専門職の役割・現状・課題を理解する。 3. 多職種からなるチーム・アプローチについて相互の協力、連携の重要性について理解する。 4. 回復期の看護に最も必要とする基本的なリハビリテーション看護の方法の実際を知る								
<b>必携テキスト</b> 新体系看護全集 別巻 リハビリテーション看護				<b>準備教材</b>				
<b>評価方法</b> 出席状況、態度 客観テスト				<b>備考</b>				

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	10/5	1. リハビリテーションの定義と理念	宮本	講義
2	10/12	2. チームで取り組むリハビリテーション チーム間の連携のあり方		
3	11/8	3. 1) 疾患リハビリテーション (運動器) 2) 疾患リハビリテーション (脳卒中)	坂本	講義
4	10/8	4. リハビリテーションにおける 理学療法士の役割・現状	塚本	講義 演習
5	10/11	5. リハビリテーションにおける 作業療法士の役割・現状	柏崎	講義 演習
6	10/	6. リハビリテーションにおける 言語療法士の役割・現状 食・嚥下療法の実際	棟方	講義 演習
7		7. リハビリテーション看護概論	平野	講義
8		9. 終講テスト		

# 専門基礎分野／社会福祉 I

目的：国民の最低生活を保障する、誰もが関わる普遍的な制度である社会保障制度について学ぶ

授業内容	健康支援と 社会保障制度	単元	わが国の 社会保障制度	講師	小野澤 秀人	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b>							
1. 日本福祉保障制度について、その理念、機能を理解する 2. 福祉に関する国の保障制度について理解する 3. 医療保険制度について理解する 4. 介護保険制度について理解する 5. 国民年金制度について理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
系統看護学講座 専門基礎9 社会福祉 医学書院							
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
客観テスト（100点）							

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	9/3	1. 社会保障制度	講義
2	9/10	1) 社会保障の概念、目的、機能 2) 社会保険の体系 3) 福祉六法 ①生活保護法 ②児童福祉法 ③身体障害者福祉法 ④知的障害者福祉法 ⑤老人福祉法 ⑥母子及び寡婦福祉法	
3	9/17	2. 医療保障	
4	10/1	1) 医療保障制度の構造と体系 2) 健康保険と国民健康保険、老人医療制度 3) 保険診療のしくみ 4) 公費負担医療	
5	10/29	3. 介護保障	
6	11/5	1) 介護保険制度の背景 2) 介護保険制度の概要 3) 介護保険の課題と展望	
7	11/12	4. 所得保障	
8		1) 所得保障制度のしくみ 2) 年金保険制度 3) 社会手当 4) 労働保険制度	
		5. 公的扶助	
		1) 貧困・低所得問題と公的扶助制度 2) 生活保護制度のしくみと今後の動向 3) 低所得対策	
		テスト	

## 専門基礎分野／社会福祉 II

目的：障害者や要介護高齢者など社会的な援護を要する者が、自立した生活を送れるような社会福祉制度について学び、医療・看護との連携の必要性を理解する

授業内容	健康支援と 社会保障制度	単元	わが国の 社会福祉制度	講師	小野澤秀人 8 丹波雅博 6	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b> 1. 高齢者への社会福祉サービス内容を理解する 2. 障害者への社会福祉サービス内容を理解する 3. 児童や家庭への社会福祉サービス内容を理解する 4. 社会福祉の援助技術について知る 5. 社会福祉の諸外国、日本の歴史を理解する							
<b>必携テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎9 社会福祉 医学書院				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法</b> 客観テスト 100 点				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	11/29	1. 社会福祉の分野とサービス	丹波	講義
2	12/6	1) 高齢者福祉 高齢化社会 高齢者福祉の方向性 在宅福祉事業 施設の高齢者福祉		
3	12/13	認知症対策		
4	11/9	2) 障害者福祉 障害者の定義 障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、権利条約） 障害者基本法、障害者自立支援法	小野澤	講義
5	11/26	3) 児童家庭福祉 児童福祉法 母子保健法 少子化対策 保育施設 児童虐待対策 DV 対策 母子家庭対策 非行児童		
6	12/3	2. 社会福祉実践と医療・看護 1) 社会福祉援助（定義、規定、分類、検討課題） 2) 個別援助技術、集団援助技術 3) 間接援助技術、関連援助技術 4) 社会福祉実践と医療と看護との連携 医療ソーシャルワーカー 連携の方法、連携の実際		
7	12/10	3. 社会福祉の歴史 1) 海外の歴史 2) 日本の歴史 3) これからの社会福祉の展望		
8		テスト		

## 専門分野 I / 看護過程

目的：対象に応じて、看護過程を展開する能力を養う

授業科目	看護過程	単元	看護過程	講師	高城利恵 (看護師経験13年)	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b> 1. 看護過程の位置付けと意義を理解する 2. 問題解決技法と看護過程の相違を理解する 3. 看護過程の構成要素とそのプロセスを理解する 4. ペーパーペイシエントに沿った看護過程を展開する							
<b>必携テキスト</b> 医学書院：基礎看護技術 I ヌーベルヒロカワ：看護過程を使ったヘンダーソン看護理論の実践 ヌーベルヒロカワ：ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト				<b>準備教材</b> 実習記録			
<b>評価方法・配点</b> 態度（学習への取り組み・姿勢評価） 25点 課題 40点 学科 35点				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	6月 開始	1) 看護過程とは ①看護過程の5つの構成要素 ②5つの構成要素の関係性 ③看護過程を用いることの利点	講義
2		2) 看護過程を展開する際に基盤となる考え方 ①問題解決過程 ②クリティカルシンキング ③倫理的配慮と価値判断 ④リフレクション	講義
3 4 5 6 7 8		3) 看護過程の各段階 ①アセスメント ※全体像の把握（関連図） ②看護問題の明確化 ③看護計画 ④実施 ⑤評価	講義
9 10 11		4) 事例展開（GW）	GW
12 13 14		5) 事例展開（個人ワーク）まとめ	個人ワーク
15		テスト	

## 専門分野Ⅱ／成人看護学（方法Ⅰ）

目的：成人看護学の事例をもとに、経過別の看護過程の展開について学ぶ。

授業科目	成人看護学 (方法Ⅰ)	単元	看護過程	講師	吉田 友子 (看護師経験21年)	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b>							
1. 疾患・障害をもつ成人期にある患者の身体面・精神面・社会面に及ぼす影響について理解する 2. 経過別の特徴を踏まえた看護過程を展開できる 3. セルフケア能力向上に向けての指導計画を考えることができる 4. 個性性を考えた退院指導を考えることができる							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
医学書院 成人看護学 1～15				事例			
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
態度（学習の取り組み・姿勢評価）：5点 課題：60点 客観テスト：35点							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	10月 開始	1. 成人の看護の視点 2. 経過別の看護の視点 3. 理論の活用について 4. 看護診断の分類	吉田	講義
2 3		1. 事例の情報の整理・アセスメント 1) 疾患の理解 2) 情報整理 3) 看護問題の抽出 2. 看護計画の立案 1) 患者の個性性に合わせた計画の立案 2) セルフ能力向上のための指導計画	吉田	個人ワーク GW
4		1. 看護過程の発表 1) 看護過程で必要な看護の視点の抽出 2) 看護計画の評価の視点の理解 2. 2事例目の看護展開	吉田	個人ワーク GW 発表
5 6		1. 事例の情報の整理・アセスメント 1) 疾患の理解 2) 情報整理 3) 看護問題の抽出 2. 看護計画の立案 1) 患者の個性性に合わせた計画の立案 2) セルフ能力向上のための指導計画	吉田	個人ワーク GW
7		1. 看護過程の発表 1) 看護過程で必要な看護の視点の抽出 2) 看護計画の評価の視点の理解	吉田	個人ワーク GW 発表
8 (0.5 コマ)		試験		

## 専門分野Ⅱ／成人看護学（方法Ⅱ）

目的：成人期にある健康障害をもつ人々を総合的に理解し、対象の生活の質の向上を目指し、生活の維持・拡大・自立に向けて援助方法を学ぶ

授業科目	成人看護学 方法Ⅱ	単元	運動器疾患をもつ患者の看護 脳・神経疾患患者の看護 内分泌(甲状腺)疾患患者の看護	講師	吉田友子 14 (看護師経験 21 年)	単位数	1
					館野夏光 4 坂本理恵 12	時間数	30
<b>学習目標</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する</li> <li>2. 各疾患患者の主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する</li> <li>3. 各疾患患者の日常生活動作のアセスメントの方法を理解する</li> <li>4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する</li> </ol>							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
医学書院・系統看護…成人看護学 10 運動器 成人看護学 7 脳・神経 成人看護学 6 内分泌・代謝				DVD			
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
運動器:40点（態度5点・提出物5・客観テスト30） 客観テスト：甲状腺：20点 脳・神経：40点							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	6月開始	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器の役割</li> <li>2. 医療の動向と看護</li> <li>3. 運動器疾患の患者の特徴</li> <li>4. 運動器疾患の看護の役割</li> </ol>	吉田	講義
2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器の機能とその障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疼痛、携帯の異常、灌節運動の異常 神経・筋肉の障害</li> </ol> </li> <li>2. 症状に対する看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状に対する要因とアセスメント</li> <li>2) 症状に対する援助方法</li> </ol> </li> </ol>	吉田	講義
3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査を受ける患者の看護</li> <li>2. 保存的慮法を受ける患者の看護</li> </ol>	吉田	講義
4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器疾患を持つ患者の看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大腿骨頸部骨折患者の看護</li> <li>2) 脊髄損傷患者の看護</li> <li>3) 変形性膝関節症患者の看護</li> <li>4) 頸髄損傷患者の看護</li> <li>5) 腰椎椎間板ヘルニア患者の看護</li> <li>6) 管節リュウマチ患者の看護</li> <li>7) 骨腫瘍患者の看護</li> </ol> </li> <li>2. 経過別の看護</li> </ol>	吉田	講義 (事前学習活用)
5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器疾患を持つ患者の看護 ・大腿骨頸部骨折患者の看護 (DVD 事例より援助方法をアセスメントする)</li> </ol>	吉田	GW DVD 事例
6 7 (0.5コマ)		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例より援助方法の発表</li> <li>2. まとめ</li> </ol>	吉田	GW 講義
8・9 10・11 12・13	6/8 6/15 6/22	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳・神経疾患患者の看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護活動の基本</li> <li>2) 主な症状に対する看護</li> <li>3) 主な検査に伴う看護</li> <li>4) 主な治療・処置に伴う看護</li> <li>5) 主な疾患をもつ看護</li> </ol> </li> <li>①脳梗塞患者 ②脳出血患者 ③クモ膜下出血患者 ④パーキンソン病患者</li> </ol>	坂本	講義
14 15	6/12 6/19	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内分泌（甲状腺）疾患患者の看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護活動の基本</li> <li>2) 主な症状に対する看護</li> <li>3) 主な検査に伴う看護</li> <li>4) 主な治療・処置に伴う看護</li> <li>5) 主な疾患をもつ看護</li> </ol> </li> <li>①甲状腺機能亢進症（バセドウ病） ②甲状腺ホルモン低下症 ③甲状腺手術後の合併症と管理</li> </ol>	小竹	
16 (0.5コマ)		テスト		



## 専門分野Ⅱ／成人看護学（方法Ⅲ）

目的：成人期にある健康障害をもつ人々を総合的に理解し、対象の生活の質の向上を目指し、生活の維持・拡大・自立に向けて援助方法を学ぶ

授業科目	成人看護学 方法Ⅲ	単 元	消化器疾患患者の看護 栄養・代謝疾患患者の看護 内分泌・(糖尿)疾患患者の看護 緩和ケア	講 師	砂長 久枝 14 (看護師経験11年) 外部講師 4	佐藤 絹代 10 中村 徹 2	単位数	1
							時間数	30
<b>学習目標</b>								
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する</li> <li>2. 主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する</li> <li>3. 日常生活動作のアセスメントの方法を理解する</li> <li>4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する</li> </ol>								
<b>必携テキスト</b>					<b>準備教材</b>			
医学書院・系統看護…成人看護学5 消化器 成人看護学6 内分泌・代謝 成人看護学総論								
<b>評価方法・配点</b>					<b>備考</b>			
客観テスト 100 点								

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法		
1 2 3 4	6月	1. 消化器疾患患者の看護 <胃癌患者> 1) 主な症状に対する看護 2) 主な検査に伴う看護 3) 主な治療・処置に伴う看護 4) 手術を受ける対象の理解 5) 術前・術後の看護	砂長	講義		
5 6		<大腸癌患者> 1) 主な症状に対する看護 2) 主な検査に伴う看護 3) 主な治療・処置に伴う看護 4) 手術を受ける対象の理解 5) 術前・術後の看護			講義 演習	
7 8	6月	1. 内分泌・ホルモン疾患患者の看護 1) 糖尿病の分類 2) 治療（内服治療・インスリン治療・食事療法・運動療法など） 3) SMBG測定法 3) 合併症について 4) 緩徐進行型Ⅰ型事例			外部講師	講義 演習
9 10 11 12 13	9/8 9/15 9/22 10/27 11/10	1. 緩和ケアの看護 1) 緩和ケアの歴史と実際 2) 終末期にある人の全人的痛みと全人的ケア「グループワークと演習を通して身体的変化・社会的・スピリチュアルの側面を理解する。」 3) 事例検討 4) 家族ケア・遺族ケア 5) コミュニケーション（ロールプレイ）				
14	11/9	1. 緩和ケアで用いられる薬剤について（疼痛コントロール）			中村	講義
15		テスト				

## 専門分野Ⅱ／成人看護学（方法Ⅳ）

目的：成人期にある健康障害をもつ人々を総合的に理解し、対象の生活の質の向上を目指すし、生活の維持・拡大・自立に向けて援助方法を学ぶ

授業科目	成人看護学 方法Ⅳ	単元	循環器疾患患者の看護 血液・造血管疾患患者の看護 アレルギー・免疫疾患患者の看護	講師	岩田彩華 16 (看護師経験8年) 外部講師 4 鈴木里美 6 黒田かよ子 4	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する 2. 主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する 3. 日常生活動作のアセスメントの方法を理解する 4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
医学書院・系統看護 …成人看護学3 循環器 成人看護学4 血液・造血管 成人看護学11 アレルギー・膠原病 南江堂 成人看護技術							
<b>評価方法・配点</b>				<b>備考</b>			
客観テスト 100点 ※岩田(態度面・課題評価あり)							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	6月	1. 循環器疾患患者の看護 基礎知識(解剖生理と機能等)・循環機能障害のアセスメント	岩田	講義
2		2. 不整脈患者の看護		
3 (3.5)		3. 検査と治療 ・十二誘導 ・心臓カテーテル検査 ・ペースメーカーなど		演習
4		4. 虚血性心疾患の看護(狭心症について)		講義
5		5. 虚血性心疾患(心筋梗塞について)		
6		6. 心不全患者の看護(事例検討・退院支援)		
7		まとめ		
8 9	9/28	2. 循環器外科看護 1) 術直後の看護 2) 心臓手術の補助手段 3) 主要な心臓手術を受ける患者の看護 (弁置換術・冠動脈バイパス術・腫瘍摘出術など)	外部	
10 11 12	11/9 11/16 11/24	2. 血液・造血管疾患患者の看護 ・血液疾患の検査・白血病・悪性リンパ腫の看護 ・悪性リンパ腫の看護・白血病化学療法 の看護 ・骨髄移植の流れ・看護 ・緩和ケア ・白血病の患者の看護問題と計画 グループワーク	鈴木	
13	11/17	3. アレルギー・免疫疾患患者の看護 <症状に対する看護> ①呼吸器症状がある患者の観 ②消化器症状がある患者の看護 ③皮膚症状がある患者の看護 ④眼症状がある患者の看護 <治療を受ける患者の看護> <検査を受ける患者の看護>	黒田	
14	11/24			
15		テスト		

## 専門分野Ⅱ／成人看護学（方法Ⅴ）

目的：成人期にある健康障害をもつ人々を総合的に理解し、対象の生活の質の向上を目指し、生活の維持・拡大・自立に向けて援助方法を学ぶ

授業科目	成人看護学 方法Ⅴ	単元	呼吸器疾患患者の看護 感覚器疾患患者の看護 感染症患者の看護 膠原病患者の看護 乳癌患者の看護	講師	増尾真由美 15（看護師経験 8 年）	単位数	1
					井上桂輔 2 神津 文子 4 黒田 かよ子 3		
学習目標)							
1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する 2. 主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する 3. 日常生活動作のアセスメントの方法を理解する 4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する							
必携テキスト				準備教材			
医学書院・系統看護…成人看護学 2 呼吸器 成人看護学 11 7ル・膠原 成人看護学 12 皮膚 成人看護学 13 眼 成人看護学 14 耳鼻咽喉 成人看護学 15 歯・口腔 南江堂 成人看護技術							
評価方法				備考			
客観テスト 100 点							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1 2 3 4 5 6	4/8	呼吸機能障害のある患者の看護 1、呼吸器の基本知識（解剖生理・観察） 2、呼吸器症状とその看護 3、呼吸器疾患患者の検査と治療 4、COPD患者の事例を通して必要な看護を導き出す方法を理解する。	増尾	講義
7	7月	呼吸リハビリテーションについて 呼吸介助の実際（実技含める）	井上	講義・演習
8	11月	1、感覚機能障害のある患者の看護 眼疾患患者の看護 白内障・緑内障・網膜剥離患者の看護 視覚障害者への介助	飯田	講義
9	11月	耳鼻科・皮膚疾患患者の看護 難聴・メニエール病・顔面神経麻痺・上顎がん手術後の看護	窪田	講義
10 11	12月	1、感染症の基礎 2、感染症とは 3、感染症の症状 4、検査、治療について 4、新興感染症・再興感染症	神津	講義
12	9月	2、易感染状態の患者の看護	増尾	講義
13	9月	乳がん看護 1、乳癌の疫学 2、病気の発生と種類 3、治療について 4、看護師の役割 5、リンパ浮腫について	外部 講師	講義
14 15	12月	1、多発性筋炎・皮膚疾患の看護 2、シェーグレン症候群の看護 3、膠原病の臨床像と治療・看護  終講テスト	黒田	講義

## 専門分野Ⅱ／成人看護学（方法Ⅵ）

目的：成人期にある健康障害をもつ人々を総合的に理解し、対象の生活の質の向上を目指すし、生活の維持・拡大・自立に向けて援助方法を学ぶ

授業科目	成人看護学 方法Ⅵ	単元	腎疾患患者の看護 泌尿器疾患患者の看護 外科看護 人工肛門 女性生殖器疾患患者の看護 がん看護	講師	磯山 由紀子 8	単位数	1
					相澤 宏美 4+2		
					大友 尚子 4	時間数	30
					山田 文代 8		
					増尾 真由美 4 (看護師経験8年)		
<b>学習目標</b> 1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する 2. 主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する 3. 日常生活動作のアセスメントの方法を理解する 4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する							
<b>必携テキスト</b> 医学書院・系統看護…成人看護学8腎・泌尿器 成人看護学9女性生殖器 成人看護学11ア・膠 南江堂 成人看護学技術				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法</b> 客観テスト 100点				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	6/4	1. 腎疾患患者の看護	磯山	講義  VTR
2	6/11	1) 症状に対する看護（浮腫・高血圧・排尿障害・尿失禁など）		
3	6/18	2) 検査を受ける患者の看護（内視鏡・腎生検など）		
4	7/9	3) 治療を受ける患者の看護（透析治療・内科的治療など） 4) 腎疾患をもつ患者の看護（ネフローゼ・腎不全など）		
5	10/29	1. 泌尿器疾患患者の看護	相澤	
6	11/5	1) 泌尿器疾患の特徴と看護の役割（排尿障害・尿失禁など） 2) 検査・処置を受ける患者の看護 3) 治療を受ける患者の看護（手術・薬物療法・放射線療法）		
7 8	11/4	術中の看護 1) 手術室の環境 2) 直接、間接介助看護師の役割 3) 手術の流れ、手術の体位 4) 麻酔の侵襲、生体の変化	大伴	
9	7/7	ストーマの特徴、ストーマ手術の種類、ストーマ術前オリエンテーション、 ストーマサイトマーキング、ストーマケア方法 退院後の生活指導、社会福祉	相澤	
10・11	6/17	1. 女性生殖器障害の看護 1) 患者の特徴 2) 看護の役割	山田	
12・13	7/8	2. 疾患の経過と看護 1) 急性期 2) 回復期 3) 慢性期 4) 終末期 5) 継続 3. 症状の理解と看護（疼痛、性器出血、帯下など） 4. 治療の理解と看護 1) 薬物療法 2) 手術療法 3) 放射線療法		
14	9月	1. がんの統計、原因、がん病変に対する治療の選択 2. がんの治療（化学療法・放射線療法）・看護	増尾	
15		テスト		

## 専門分野Ⅱ／老年看護学（方法Ⅱ）

目的：高齢者を看護するためのフィジカルアセスメント、及び、生活機能を整える看護を学ぶ

授業科目	老年看護学	単元	方法Ⅱ (老年看護の基本)	講師	高城利恵（看護師経験13年）20 平野真紀子（看護師経験6年）10	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 高齢者を対象としたフィジカルアセスメントの方法を理解する 2. 高齢者によく見られる身体症状とそのアセスメント方法を理解する 3. 高齢者の生活機能を整えるための視点とアセスメント、看護を理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
医学書院…老年看護学病態・疾患論 老年看護学							
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
客観テスト・レポート				事前レポート・身だしなみ等が整わない場合演習に参加できない場合があります。			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	4月 開始	1. 高齢者のアセスメント 1) 身体の変齢変化とアセスメント ①看護職が行うフィジカルアセスメントの位置づけ	高城	講義
2		②皮膚とその付属器 ③視聴覚とその他の感覚 ④循環系 ⑤呼吸器系		講義
3		⑥消化・吸収 ⑦ホルモンの分泌 ⑧非尿生殖器と性 ⑨運動系		講義
4		2) 高齢者によくみられる身体症状とアセスメント ①発熱 ②痛み ③掻痒（かゆみ） ④脱水 発表・まとめ		個人ワーク GW
5		⑤嘔吐 ⑥浮腫		
6		⑦倦怠感 ⑧便秘		
7		フィジカルアセスメントの実際		演習
8				GW
9		事例に基づいてのフィジカルアセスメント 発表・まとめ		演習・G・W
10	4月 開始	2. 高齢者の生活機能を整える看護の展開 1) 日常生活を支える基本的活動	平野	講義
11		2) 食事・食生活		講義
12		3) 排泄		講義
13		4) 清潔		講義
14		5) 生活リズム 6) コミュニケーション		講義
15		テスト	高城	

## 専門分野Ⅱ／老年看護学（方法Ⅲ）

目的：高齢者の健康逸脱からの回復と、地域での生活、終末期を支える看護を学ぶ

授業科目	老年看護学	単元	方法Ⅲ 健康逸脱への看護 生活・療養の場における看護 看護過程	講師	高城 利恵 14 (看護師経験 13年)	単位数	1
					永長恵美子 4 野口 晴代 8 堀江 里花 4	時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 検査・治療を受ける高齢者への看護を理解する 2. 疾患を持つ高齢者への看護を理解する 3. 高齢者の医療安全について学ぶ 4. 終末期にある高齢者に対する看護を学ぶ 5. 生活・療養の場における看護の展開と介護家族への看護を学ぶ 6. 事例を基に高齢者の特徴を考慮した看護過程の展開ができる							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
医学書院…老年看護学病態・疾患論 老年看護学							
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
客観テスト・レポート							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	12/10	1. 健康逸脱からの回復と終末期を支える看護の展開 1) 検査・治療を受ける高齢者への看護 2) 疾患を持つ高齢者への看護 ①脳卒中	永長	講義
2	12/17	②心不全 ③パーキンソン病・パーキンソン症候群 ④インフルエンザ		
3	11/12	⑤肺炎 ⑥感染性胃腸炎 ⑦骨粗鬆症 ⑧骨折 ⑨褥瘡	堀江	講義
4	11/26	3) 認知機能の障害に対する看護 ①うつ ②せん妄 4) 終末期における看護		
5	11/5	2. 生活・療養の場における看護の展開 1) 在宅高齢者への看護	野口	講義
6	11/12	2) 保健医療福祉施設における看護 ①急性期治療を担う医療施設の特徴と看護 ②リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護 3) 介護を必要とする高齢者を含む家族への看護		
7	12/10	3. 高齢者のリスクマネジメント 1) 高齢者と医療安全 ①高齢者と医療事故 ②高齢者特有のリスク要因 ③病院・施設におけるリスクマネジメント i 急性期病院におけるリスクマネジメント ④高齢者がみまわれやすい医療事故と対応の実際		
8	12/17	2) 高齢者と救命救急 3) 高齢者と災害看護		
9 10 11	10月	4. 看護過程の展開 1) 看護過程の考え方 ①看護過程の基本 ②高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方 ③老年看護に活用できる理論・アプローチ「目標思考型思考」	高城	講義 G・W
12 13 14		2) 事例展開の実際 事例を基に看護過程を展開する		個人ワーク
15		テスト		

## 専門分野Ⅱ／小児看護学（方法Ⅰ）

目的：小児の成長・発達について理解し、社会の変化が小児にどのように影響しているかを考え、疾患や障害をもつ小児と家族の看護を学ぶ

授業科目	小児看護学	単元	小児看護技術	講師	野原恵美（看護師経験11年）	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b> 1. 子どものアセスメントについてその根拠と技術を理解する。 2. 基本となる小児看護技術について理解する 3. 検査・処置の目的と具体的な支援の方法を理解する。							
<b>必携テキスト</b> 医学書院 小児看護学（1） 小児看護学概論 小児臨床看護学総論				<b>準備教材</b> インターメディカ、写真でわかる小児看護技術			
<b>評価方法</b> 客観テスト 90点 出席・態度 10点				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	8月 開始	1. 観察	野原	講義 VTR
2		2. コミュニケーション		
3		3. プレパレーション ①プレパレーションの基本 ②事例1（乳児期：ディストラクション） ③ディストラクション発表・ロールプレイ		
4	5	4. ①事例2（幼児期：プレパレーション） ②プレパレーション発表・ロールプレイ		講義 演習
5		5. ①事例3（学童期：プレパレーション） ②プレパレーション発表・ロールプレイ		
6	7	6. 日常生活の援助 ①遊び ②授乳（調乳の方法） ③離乳食		講義 演習
7		7. 与薬		
8		8. 検査・処置を受ける小児の看護 検体採取（採血・採尿） 腰椎穿刺		
		9. 吸入・酸素療法・点滴固定	講義 演習	
		テスト		VTR

## 専門分野Ⅱ／小児看護学（方法Ⅱ）

目的：小児の成長・発達について理解し、社会の変化が小児にどのように影響しているかを考え、疾患や障害をもつ小児と家族の看護を学ぶ

授業科目	小児看護学	単元	小児疾患	講師	太田哲也 20	単位数	1
					外部講師 6		時間数
					坂元直哉 2		
					砂長久枝（看護師経験11年） 2		
<b>学習目標</b> 1. 小児期に多い患者・小児に特有な疾患の病態生理を理解する 2. 小児の疾患や症状に対する診断・治療について理解する							
<b>必携テキスト</b> 医学書院 小児看護学（2） 小児臨床看護各論 臨床外科看護各論				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法</b> 客観テスト				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	6月	1. 遺伝子・染色体異常	外部	講義
2		2. 新生児の疾患		
3		3. 神経疾患		
		4. 精神領域の疾患		
4	6/1	5. 小児外科	坂元	講義
5	4/21	6. 内分泌・代謝疾患	太田	講義
6	4/28	7. 感染症		
7	5/12	8. 呼吸器疾患		
8	5/19	9. 循環器疾患		
9	5/26	10. 消化器疾患		
10	6/2	11. 血液疾患		
11	6/9	12. 腫瘍性疾患		
12	6/16	13. 腎尿器疾患		
13	7/7	14. アレルギー疾患・免疫疾患・膠原病		
14	7/21	15. 小児の救急と事故		
15		16. 終講・テスト		



## 専門分野Ⅱ／小児看護学（方法Ⅲ）

目的：疾患や障害をもつ小児の発達段階や健康段階に応じた看護が実践できるための基礎的知識・技術を学ぶ

授業科目	小児看護学	単元	健康障害への看護 看護過程	講師	中島 友美 4 洞毛 初美 6 砂長 久枝 20 (看護師経験11年)	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b> 1. 疾病・障害をもつ子どもと家族の特徴と看護を理解する。 2. 疾病の経過、症状別の看護、症状のアセスメントと看護を理解する。 4. 外来や病棟における看護の特徴、看護の役割を理解する。 5. 生活に影響を及ぼす健康問題をかかえる小児の看護を理解する。 6. 事例をもとに小児の特徴をふまえた看護過程の展開ができる。							
<b>必携テキスト</b> 医学書院 小児看護学（1）（2） 小児看護学概論 小児臨床看護学総論 小児臨床看護各論				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法</b> 客観テスト、課題レポート、出席・態度				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1 2・3	11/22 11/29	3. 新生児の看護 NICU 4. 症状を示す小児の看護 5. 腎泌尿器疾患と看護 6. 神経疾患と看護	洞毛	
4・5	11/15	7. 呼吸器疾患と看護 8. 消化器疾患と看護	中島	
6・7 8・9 10・11 12・13 14・15	11月	9. 事例による看護過程の展開 事例を通し全体像の捉え方・アセスメント～看護展開  終講テスト	砂長	講義 事例演習

## 専門分野Ⅱ／母性看護学（方法Ⅰ）

目的：妊娠前からの女性・家族への支援と看護について学ぶ  
 妊娠・分娩・産褥の正常・異常の知識を得て、妊婦・産婦・褥婦の看護を学ぶ  
 正常・異常に経過する妊婦の看護について学ぶ（保健指導）

授業科目	母性看護学	単元	正常妊婦の看護 異常妊婦の看護	講師	山田千恵 13 木村千代 5 鈴木景子 8 松村 淳子 4	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 正常妊婦の看護について理解する（保健指導） 2. 異常に経過する妊婦の看護について理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
系統看護 母性看護学2 医学書院				妊婦検診モデル、ベビーモデル、新生児衣類一式、コット体重計、身長計			
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
客観テスト							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	4/19	Ⅰ. 妊娠期から分娩期における看護 1. 妊娠期の身体的特性 2. 妊娠期の心理・社会的特性 3. 分娩の要素 4. 分娩の経過	山田 (千)	講義
2	4/26			
3	5/10			
4	5/17			
5	5/24			
6	5/31			
1・2 3・4	6/22 7/5	Ⅱ. 妊娠期のアセスメントと看護 1. 妊婦と胎児のアセスメント 2. 妊婦と家族の看護	鈴木	講義
1・2 3	9/3 9/10	Ⅲ. 妊娠期の健康課題と看護 1. ハイリスク妊娠 2. 妊娠期の感染症 3. 妊娠疾患 4. 多胎妊娠 5. 妊娠持続期間の異常 6. 異所性妊娠	木村	講義
1・2	11/2	7. ハイリスク妊婦の看護	松村	講義
0.5		テスト		

## 専門分野Ⅱ／母性看護学（方法Ⅱ）

目的：正常・異常に経過する産婦の看護について学ぶ  
 新生児の看護について学ぶ

授業科目	母性看護学	単元	正常・異常産婦 新生児の看護	講師	松村 淳子 10 山田 文代 5	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b>							
1. 正常・異常に経過する産婦の看護について理解する 2. 分娩期の正常と異常になった産婦の看護について理解する 3. 新生児の看護について理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
系統看護 母性看護学2 医学書院				ベビーモデル、新生児衣類一式 コット体重・身長計、ファントム、DVD			
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
客観テスト							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1 2	11/19	1. 分娩期の看護 【正常】 1) 産婦の心理、社会的変化 2) 産婦・胎児・家族のアセスメント 3) 産婦と家族の看護 4) 分娩期の看護の実際	松村	講義 DVD
3	11/26	5) 分娩1期の看護 ①活動期②終盤（産痛緩和） 6) 分娩2期の看護 7) 分娩3・4期の看護（胎盤計測）		
4 5	12/3	【異常】 1) 異常のある産婦の看護 2) 破水が生じた産婦の看護 3) 分娩遷延リスクのある産婦の看護 4) 胎児機能不全を生じるリスクのある看護 5) 帝王切開術を受ける産婦の看護 6) 骨盤分娩時の看護 7) 異常出血のある産婦の看護		
6 7	9/2	2. 新生児期における看護 1) 新生児の生理 2) 新生児のアセスメント 3) 新生児の看護		
8		テスト	全員	

## 専門分野Ⅱ／母性看護学（方法Ⅲ）

目的： 正常・異常に経過する褥婦の看護について学ぶ

授業科目	母性看護学	単元	正常・異常褥婦の看護 看護過程・乳房管理 管理・沐浴演習	講師	山田 文代 14 後藤久美子（助産師経験6年）12+2 木村 千代 2	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b> 1. 正常に経過する褥婦の看護について理解する 2. 異常に経過する褥婦の看護について理解する 3. 看護過程について理解する 4. 母性看護技術を修得する 5. 母性病棟の管理について理解する							
<b>必携テキスト</b> 系統看護 母性看護学2 医学書院				<b>準備教材</b> 乳房マッサージモデル、ベビー人形 妊婦体験モデル 衣類、沐浴槽、VTR 妊婦腹部触診モデル			
<b>評価方法</b> 客観テスト、レポート				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1・2	9/17	1. 異常新生児の看護 2. 産褥期の看護	山田	講義 演習
3・4	9/24	3. 産褥期のアセスメント 4. 産褥体操の実際		
5・6	10/1	5. 産褥期の異常の全体像 ・子宮復古不全 ・産褥熱 ・帝王切開後の看護		
7・8	10/8	6. 産科精神疾患と看護		
9	12/7	助産師外来・病棟の管理	木村	講義
10	3月	13. 沐浴デモンストレーション（全体） 14. 妊婦健診演習 15. 乳房管理・乳房マッサージ演習	後藤	演習
11 12 13 14 15	1月	7. 分娩期のアセスメントと看護過程 8. 産褥期のアセスメントと看護過程 9. 帝王切開後の全身状態のアセスメントと計画 10. 産褥期の診断リスト 11. 新生児のアセスメントと看護過程 12. 事例展開  終講テスト	後藤	講義

## 専門分野Ⅱ／精神看護学（方法Ⅰ）

目的：精神障害の理解と代表的な精神疾患概念・症状・経過について学ぶ。また、薬物療法をはじめとする治療・検査について学ぶ

授業科目	精神看護学	単元	方法Ⅰ (疾患・治療の理解)	講師	石井 徳恵 24 石井 竜介 4 古畑貴子 2 (看護師経験 14年)	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 精神医療の歴史と現状について理解する 2. 精神症状や精神疾患について理解する 3. 薬物療法、精神療法、リハビリテーション、精神科における検査を理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
新体系精神看護学①概論と保健メヂカルフレンド社 新体系精神看護学②精神疾患をもつ人の看護 看護コミュニケーション 医学書院「精神看護の基礎」医学書院							
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
態度（学習の取り組み・姿勢評価） 客観テスト							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	4/15	B:精神症状論と状態像 ・精神障害の診断と分類 1. 統合失調症	石井	講義 プリント PC 講義 プリント
2	4/22	2. 気分(感情)障害		
3	5/20	3. 神経症性障害、		
4	5/27	4. ストレス関連障害および身体表現性障害		
5	6/3	5. てんかん		
6	6/17	6. パーソナリティ障害・児童思春期の精神障害		
7	9/2	精神科における治療		
		7. 精神療法		
8	9/16	8. 環境療法		
9	9/30	9. 社会療法		
10	11/4	10. 精神科の検査		
11	11/11	11. 症状性を含む器質性精神障害の診断と治療		
12	11/18	12. 精神作用物質使用による精神および行動の診断と治療		
13	10/6	精神科法制度	石井 竜介	
14	10/13	依存症・自殺		
15		まとめ 終講テスト	古畑	

## 専門分野Ⅱ／精神看護学（方法Ⅱ）

目的：精神を病む人の理解と臨床における看護援助のあり方について学ぶ

授業科目	精神看護学	単元	方法Ⅱ (精神臨床看護)	講師	古畑貴子（看護師経験 14 年）10	単位数	1
					三橋 弘志 6 野口陽子 4		時間数
<b>学習目標</b> 1. 精神科における看護の役割を理解する 2. 精神を病む人の特徴を理解する 3. 看護援助の基本について学ぶ 4. 主な症状のアセスメントと看護について理解する 5. 地域精神保健活動について理解する 6. 看護者のメンタルヘルスとリエゾン看護について学ぶ							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
新体系精神看護学①概論と保健メヂカルフレンド社 新体系精神看護学②精神疾患をもつ人の看護 看護コミュニケーション							
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
客観テスト（古畑、三橋、篠塚、前田） 態度（学習の取り組み・姿勢評価）							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	8月	1. 精神科における看護の役割 A:入院治療の意味を理解する B:治療的環境をつくる	古畑	講義  演習
2		C:安全を守る		
3		D:日常から気をつけておきたい身体合併症		
4		E:睡眠の援助		
5		2. 精神疾患・障害をもつ患者への看護 ・アルコール依存症 ・強迫性障害 ・神経性やせ症摂食制限型 ・注意欠如・多動性障害		
6	12/3	・統合失調症	野口	講義
7	12/10	・うつ病、双極性障害		
8	12/17	・認知症 ・妄想性障害	鳥羽	
9	11/2	3. 地域における精神看護	三橋	講義
10	11/16	A:地域で生活するための原則		
11	11/30	B:生活を支える制度 C:地域での看護に実際		
12	11/5	2. 精神疾患・障害をもつ患者への看護	前田	講義
13	11/12	・身体疾患を合併している患者への看護		
14	11/19	4. 精神科以外での精神看護 A:看護カウンセリング B:リエゾン精神看護 C:コミュニティにおける精神保健・精神看護		
15	11/17	5. 精神障害と法制度	篠塚	講義
テスト				

## 専門分野Ⅱ／精神看護学（方法Ⅲ）

目的：基礎看護学の事例をもとに、精神を病む人の看護過程の展開について学ぶ

授業科目	精神看護学	単元	方法Ⅲ（看護過程）	講師	古畑貴子 （看護師経験 14 年）	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b>							
1. 精神看護の対象を理解できる。                              2. 精神看護の対象の情報収集の視点が理解できる 3. 対象が健康生活を回復するために必要な課題を抽出できる。 4. 対象に必要な個別的・具体的、患者が参加できる看護計画が立案できる。 5. 行った看護を評価する視点について理解できる。							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
新体系精神看護学①概論と保健メヂカルフレンド社 新体系精神看護学②精神疾患をもつ人の看護 看護コミュニケーション ヘンダーソンモデルにもとづく精神科看護過程				DVD「ビューティフルマインド」 実習記録			
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
態度（学習の取り組み・姿勢評価）：10点 課題：60点 客観テスト：30点							

回数	実施日	主な学習内容	担当者	授業方法
1	11月	1. 教材鑑賞（DVD）	古畑	講義
2		1) 精神に障害をもった対象の理解とその影響 2) 精神看護のめざす目標		DVD
3		2. 精神看護の看護過程 1) ヘンダーソンの看護観 2) ヘンダーソンの看護観の活用と看護過程		紙上事例検討
4		2) ヘンダーソンの看護観に基づくアセスメントの枠組み 3) 臨床判断と統合		
5		4) 看護計画 5) 患者主体型の看護計画と看護記録 ①患者の条件 ②看護師に求められる姿勢		
6		6) 看護実践 （基本的欲求の充足・強化・補填行動への援助行為）		
7		7) 関連図の作成方法 8) プロセスレコードの活用方法 9) 精神看護過程の展開（事例）		
8		10) まとめ 終講テスト		

## 統合分野／在宅看護論（概論）

目的：在宅で療養する対象を看護するために、在宅看護の変遷とその社会的背景、在宅看護の目的・基本理念・概念、在宅ケアを支える制度や社会資源、対象の特性とその支援の在り方を学ぶ

授業科目	在宅看護論	単元	概論	講師	増尾真由美(看護師経験8年)9 池田洋子(看護師経験11年)4 山口佳奈江2	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b> 1. 日本の在宅看護の変遷とその社会背景について理解できる 2. 在宅看護の目的と基本理念、関連する概念について理解できる 3. 在宅看護の対象の特性とその支援の基本を理解できる 4. 在宅ケアを支える制度や社会資源を理解できる 5. 在宅看護における安全と健康危機管理について学ぶ。							
<b>必携テキスト</b> メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア 在宅看護論②在宅療養を支える技術				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法</b> 客観テスト：100点				<b>備考</b> 2年前期（4月～5月）			

回数	実施日	主な学習内容	項目	担当教員	授業方法
1	6月	1. 在宅看護の概念 1) 在宅看護の背景		増尾	講義 DVD
2		2) 在宅看護の基盤			
3		3) 地域医療を支える看護の役割・機能			
4		4) 在宅看護における倫理 3. 地域ケアシステムにおける在宅看護 1) 地域包括ケアシステム 5. 在宅看護における安全と健康危機管理 1) 在宅看護における危機管理 2) 日常生活における安全管理 3) 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理			
5	7/12	2. 在宅療養者と家族の支援 1) 在宅看護の対象者 2) 在宅看護の対象者と在宅療養の成立の要件 3) 在宅療養の場における家族のとらえ方 4) 在宅療養者の家族への看護		山口	講義
6	6月	4. 地域療養を支える制度		池田	講義 GW
7					
		テスト		増尾	



# 統合分野／在宅看護論(方法 I)

目的:在宅での療養生活を支えるための訪問看護技術、医療ケア、生活ケアを学ぶ

授業科目	在宅看護論	単元	方法 I (在宅看護技術)	講師	池田洋子(看護師経験 11 年)24 増尾香代子 2 半沢文子 4	単位数	1
						時間数	30
<b>学習目標</b>							
1. 療養者と適切な信頼関係を築くために必要な行動・態度を理解する 2. 在宅療養におけるフィジカルアセスメントの意義を理解し、療養者の特性に応じたフィジカルイグザミネーションの必要性が理解できる 3. 在宅療養を支える医療ケアの目的と意義、療養を支える看護技術(医療ケア)とその在り方を理解できる 4. 在宅療養を支える生活ケアの目的と意義、日常生活を支える看護援助とその在り方を理解できる 5. 療養者の状態・疾患に応じた各種社会保障・制度、地域社会資源の活用方法を理解する							
<b>必携テキスト</b>				<b>準備教材</b>			
メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア 在宅看護論②在宅療養を支える技術				DVD			
<b>評価方法</b>				<b>備考</b>			
態度(学習の取り組み・姿勢評価): 10 点 課題(池田): 20 点 客観テスト: 70 点				2年後期(9月~11月)			

回数	実施日	主な学習内容	項目	担当教員	授業方法
1	9月	1. 在宅における援助技術 1) 生活ケアと医療的ケア		池田	講義
2		2. 在宅療養生活を支える基本的な技術			
3	9/1	3. 療養を支える看護技術(医療ケア) 1) 医療ケアの原理原則		半沢	講義
4		2) 医療的ケアの援助技			
5	10月	3) 在宅酸素療法: H O T に用いられる機器の種類と原理、安全管理		池田 星医療酸器	講義 演習
6	12月	4. 日常生活を支える看護技術 1) 療養者の口腔ケア		増尾香代子	講義 演習
7	9月	2) 療養者の家庭にある物品を用いての清潔援助		池田	講義
8		演習 1 清拭・洗髪・陰部洗浄・寝衣交換			GW
(3h)		事例紹介			
9		5. 訪問看護技術			
10		1) 家庭訪問・初回訪問			
11		演習 2 シミュレーション「初回訪問」			演習
12		事例紹介			
13	10月	6. 地域療養を支える制度		池田	講義
14		・在宅療養を支える各種社会保障・制度、地域社会資源			GW
15		の活用方法を理解する			
(1h)		・訪問看護における医療保険と介護保険の調整			発表
		テスト		池田	

## 統合分野／医療安全Ⅱ

目的：看護事故の構造を理解し、事故防止について学ぶ

授業内容	看護の統合 と実践	単元	医療安全Ⅱ	講師	岡本泰子（看護師経験27年）5	単位数	1
					前田聡 8 神津文子 2	時間数	15
<b>学習目標</b> 1. 医療安全に対する最近の動向・考え方を理解する 2. 医療安全の基本を学び医療安全対策が考えられる 3. 感染成立の条件および院内感染防止の基本における看護師の役割を理解する 4. 感染経路別予防策の実際を理解する							
<b>必携テキスト</b> 看護学概論				<b>準備教材</b>			
<b>評価方法</b> 客観テスト（100点）				<b>備考</b>			
回数	実施日	主な学習内容			担当者	授業方法	
1	6月	1. 医療安全に対する最近の動向・考え方			岡本	講義	
2		2. 医療安全の基本 1) 医療安全推進の3つの方向性 2) 個人事故と組織事故 3) ヒューマンエラーと人的特性 4) 事故の構造 5) 情報伝達エラー					
3		3. 医療安全の取り組み 1) 診療補助業務に伴う事故防止 2) 療養上の世話における事故防止					
4	10/1	4. リスクマネジメント					
5	10/8	5. KYT 演習 チームステップス					
6	10/29	6. 事故要因分析					
7	7/19	3. 感染経路別予防策について ①接触感染②飛沫感染③空気感染の具体的な対策 ②感染管理・隔離中の患者の看護			神津	講義	
8		テスト					

## 統合分野／看護研究の基礎

目的：ケーススタディをまとめることで自己の行った看護実践を客観的視点で振り返り行った看護実践の意味や課題を明確にする。

授業内容	看護の統合 と実践	単元	看護研究の基礎	講師	増尾 真由美 (看護師経験 8 年)	単位数	1
						時間数	15
<b>学習目標</b> 1. ケース・スタディの意義と特徴が理解できる 2. ケース・スタディの計画を立案できる 3. 実践した看護を振り返り、ケース・スタディとしてまとめ発表することができる 4. 実践した看護を評価・考察し、今後の課題が明確になる。 5. ケーススタディをまとめ、発表会に参加することで看護観を深めることができる。							
必携テキスト				準備教材			
<b>評価方法</b> 出席状況、ケーススタディ 参加態度				<b>備考</b>			

回数	実施日	主な学習内容	授業方法
1	2月	1. ケース・スタディの実際・発表 1) ケース・スタディの計画 2) ケース・スタディの形式とレポートの書き方 3) ケース・スタディの実際	講義 演習
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			